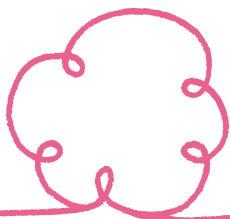


安全なまち・安心な暮らし

都市基盤施設の整備



こんな質問をしました

高度な物流機能の集積を。

コンテナターミナルの整備を進めるとともに、
物流円滑化のための共同利用施設の整備を行い
物流機能のバックアップを図ったり、積極的な企業誘致を行い、
高度な物流機能を集積し、ロジスティクス機能の強化に取り組むことが
港湾の国際競争力を高めることにつながると考えます。

(平成17年11月16日、平成18年11月13日・名古屋港管理組合議会にて)



飛島ふ頭南側コンテナターミナルで次世代対応荷役システムを視察

その後このような施策につながりました

- 木場金岡ふ頭シーサイドグリーン跡地への倉庫会社の進出
- 木場金岡ふ頭・鍋田ふ頭でのロジスティクスハブ形成事業者の募集
 - 飛島ふ頭コンテナターミナルの一体的運用の実現
 - 鍋田ふ頭での物流円滑化共同利用施設の供用開始